

看護師と医師の色調認識の差 ～閉鎖式ドレーン排液に注目して～

キーワード：閉鎖式ドレーン排液 カラースケール 色調認識

1 病棟 5 階西

松本祥一 水本幸江 藤井靖子 伊藤綾香 倉田町恵

I. はじめに

手術後の看護では合併症の早期発見のために、各ドレーンの排液の色調を観察し正確に報告することが重要である。しかし、実際には排液の性状を医師へ報告すると、他の看護師と色調の報告が異なると指摘を受けたことがあった。また、近年の外科手術では閉鎖式ドレーンを留置することが多く、先行研究ではガーゼ汚染の色調認識の報告はあるが、液状での排液の色調に関する研究はなかった。そこで、閉鎖式ドレーン排液の色調認識の統一を図る必要があると考え、当科の看護師と医師の色調認識の調査を行った。その結果、スタッフ間での色調認識の差とカラースケールの必要性が明らかになり独自のカラースケールを作成したので報告する。

II. 研究方法

1. 調査期間：平成 20 年 6 月～7 月

2. 対象：1-5 西看護師 31 名、第一外科医師 14 名

3. 調査方法：

1) 選択式・一部自由記述を含む独自の調査用紙（資料 1）を使用し、色調認識の意識調査を行った。

2) ドレーン排液のサンプルは成人男性の静脈血を採取し、生理食塩水で希釈し対象者に提示した。（図 1）

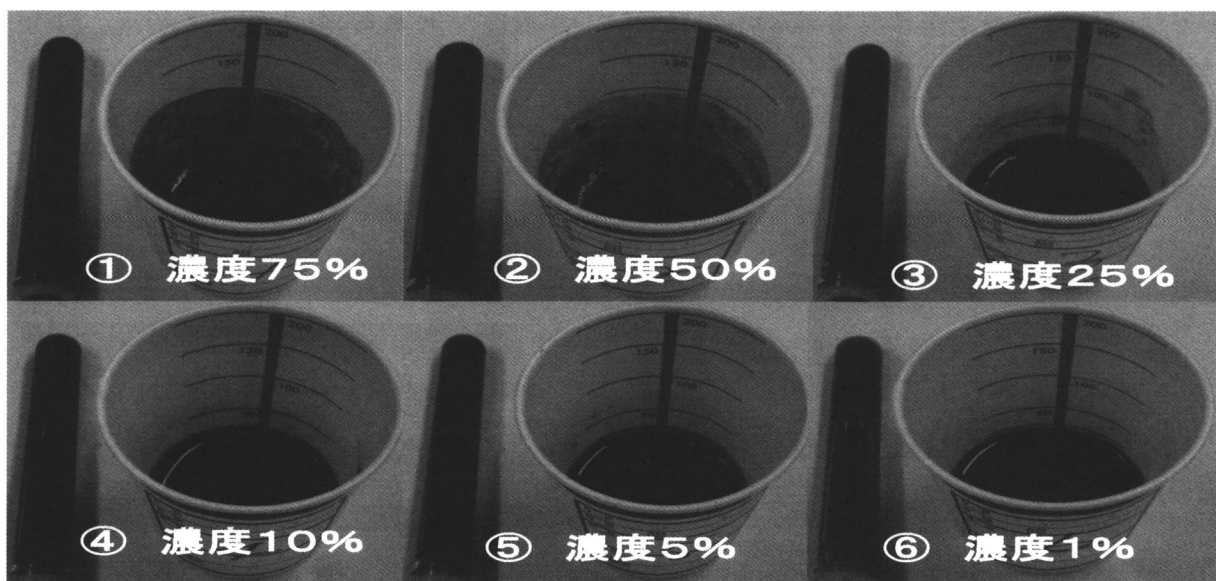


図 1 排液サンプルの作成

<排液サンプルの作成>

排液サンプル（以後サンプル）は静脈血と生理食塩水の濃度は75%、50%、25%、10%、5%、1%で作成した。実際に看護師がドレーン排液を見る環境を想定し、サンプルはウロカップに各25ml作成した。更に色調判断ができるようにスピッツに10ml採取し提示した。

調査には、対象者が同じサンプルで色調判断ができるように、採血バックで血液を貯留したものを希釈して作成し、対象者が同じ明るさの照度で色調判断ができるようにした。

4. 分析方法：

- 1) 意識調査のデータを単純集計した。
- 2) 色調判断データはサンプルを用いたデータを単純集計し、更に看護師と医師間に分けて色調判断に有意差があるのかをX²検定を用い分析した。

5. 倫理的配慮：

対象者と貯血の協力者に研究目的と内容について文章・口頭で説明し、参加は任意とし個人が特定されないこと、調査結果は本研究以外に使用しないことを説明し同意を得た。また、得られたデータは本研究のみに使用し、個人が識別できる情報として提示しないことも説明した。

III. 結果、考察

1. 意識調査による色調認識の差(図2)

「自分の色調判断が他の同職者と違う」では「はい」が看護師20名(65%)医師6名(43%)であり「いいえ」が看護師11名(35%)医師8名(57%)であり看護師間では色調判断の相違があることがわかった。「色調判断に困っているか」では「はい」が看護師26名(84%)医師6名(43%)「いいえ」が看護師5名(16%)医師8名(57%)であり、大半の看護師と医師が困っているとわかった。また困っている理由としては「血性と淡血性などの色調の判断に迷う」「色調判断する指標がない」であった。「色調認識を統一したほうがよいか」では「はい」が看護師29名(94%)医師12名(86%)「いいえ」が看護師1名(3%)医師2名(14%)であった。「色調認識の統一にカラースケールが必要であるか」では「はい」が看護師30名(94%)医師13名(93%)であり、大半がカラースケールを使用して統一を必要としていた。異常時には的確な報告が求められるが、この結果より色調判断に困っているという現状が明らかになったことで色調認識の統一の必要性が示唆された。

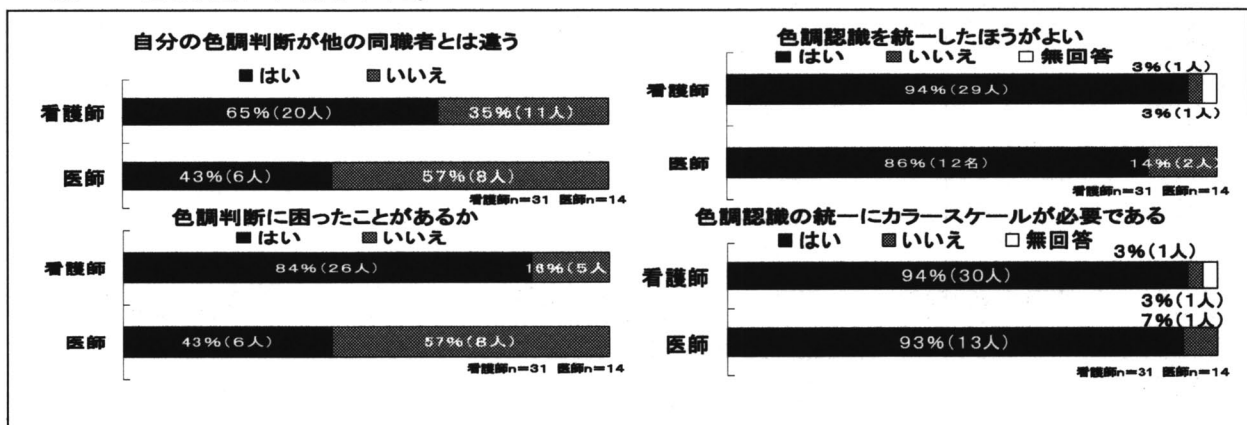


図2 意識調査による色調認識の結果

2. サンプルによる色調判断調査 (表1)

この表からの結果として最も注目したのはサンプル③・④・⑥である。看護師、医師ともに1つのサンプルでも血性～淡々血性と分かれており、色調判断に相違があった。また χ^2 検定の結果サンプル③・⑤で看護師と医師間に有意差があり看護師と医師間の色調認識は異なっていることが明らかになった。

表1 サンプルによる色調判断調査の結果

		血性	淡血性	淡々血性	その他
サンプル① (75%)	Ns	100%			
	Dr	93%	7%		
サンプル② (50%)	Ns	90%	10%		
	Dr	93%	7%		
サンプル③ * (25%)	Ns	58%	39%	3%	
	Dr	64%	29%	7%	
サンプル④ (10%)	Ns	13%	77%	10%	
	Dr	21%	72%	7%	
サンプル⑤ * (5%)	Ns		58%	42%	
	Dr		71%	29%	
サンプル⑥ (1%)	Ns		7%	77%	16%
	Dr		36%	64%	

()内は希釈濃度 * P<0.01

このことから、同職者間と他職者間でも判断に相違があり、意識調査だけでなく色調判断調査からもカラースケールの必要性が示唆された。

松永¹⁾は「血性と判断した看護師はすぐ医師に報告し、淡血性と判断した看護師はしばらく様子を見る」と報告しており、判断がその後の看護師の行動を左右するため、カラースケールを使用することで同じ視点でのアセスメントが可能となり、看護師のアセスメント能力の向上や異常の早期発見など冷静な判断ができると考える。また田辺ら²⁾は「院内の多種多様な色表現を統一化することは、色についてスタッフ間で共通認識することが可能となり色情報の連続性が保証される」と述べており、スタッフ間での色調認識の統一により、報告が円滑に進むことで術後患者の異常時の対応が早期に可能となると考える。これにより、今回のサンプルの判断結果をもとに独自のカラースケールを作成した(図3)

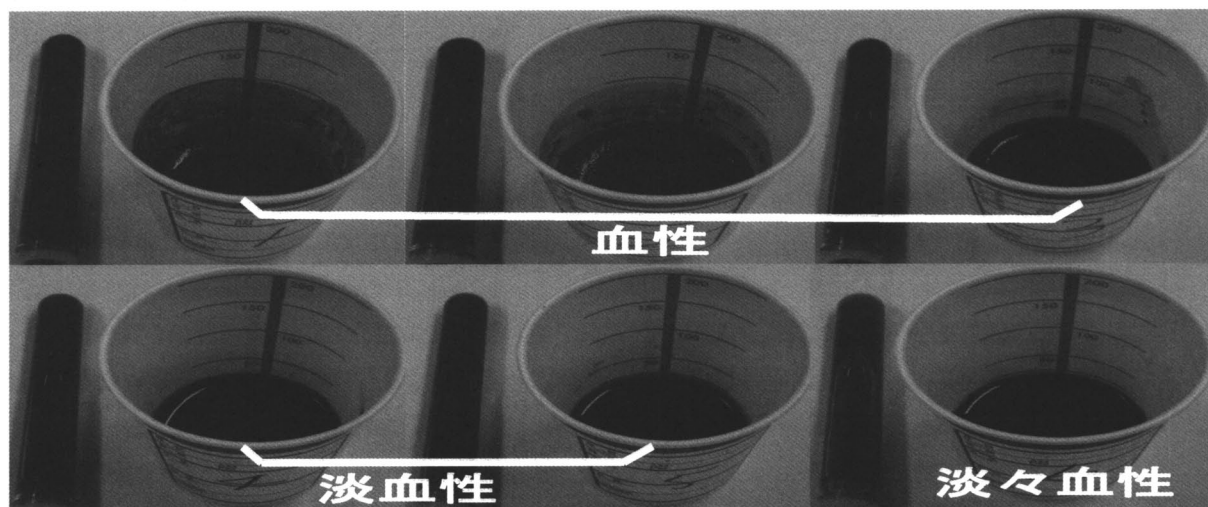


図3 カラースケール

IV. 結語

1. 看護師間・看護師 - 医師間には色調認識の違いがあり、サンプルの色調判断も多様であった。
2. 看護師・医師ともに色調認識の統一化を図っていく必要があり、カラースケールが必要であると考えていた。
3. 今回の結果を基に独自のカラースケールを作成した。
4. 作成したカラースケールが臨床現場において、実際に役立つものかどうか検証していく必要がある。

引用・参考文献

- 1) 松永彌生:術後におけるドレーンからの排液の性状・量に関する判断基準の検討, 臨床看護研究の進歩, Vol18, P43, 1996.
- 2) 田辺久美子:色情報伝達の統一化に向けてーカラースケールの作成ー, 第35回看護総合, P63, 2004.
- 3) 菊井愛美:術後におけるガーゼ汚染の色を表現する際の判断基準の検討ーカラースケールの使用の有無による判断ー, 第37回看護教育, P321~323, 2006,
- 4) 峰雄景子:看護職における色彩認知能力の形成過程に関する研究, 第30回看護総合, P80~83, 1999.

資料 1 調査用紙

看護師用

本調査にご協力頂ける方は、以下の質問にご協力をお願いします。

- ①看護師の経験年数・・・()年
- ②1外科での経験年数・・・()年
- ③ドレーン排泄の色調判断の基準は何ですか。(複数回答可)
(先輩からの指導・教科書・過去の経験・その他：)
- ④ドレーン排泄の色調が申し送りと自分の判断で違うと思ったことはありますか。
(はい・いいえ)
- ⑤医師から看護師によって色調判断が異なると指摘を受けたことがありますか。
(はい・いいえ)
- ⑥ドレーン排泄の色調判断に困ったことはありますか。
(はい・いいえ)
[⑥で「はい」と答えた人のみ理由を記入して下さい。(複数回答可)]
・血性と淡血性などの色調の判断に迷う
・色調判断する指標がない。
・その他
()
- ⑦病棟で色名を統一したほうが良いと思いますか。
(はい・いいえ)
- ⑧色調判断にカラースケールが必要だと思いますか
(はい・いいえ)
[⑧で「いいえ」と答えた人のみ理由を記入して下さい。]
()
- ⑨カラースケール以外に色調判断の基準となるものがあるとすればご記入下さい。
()

医師用

本調査にご協力頂ける方は、以下の質問にご協力をお願いします。

- ①医師の経験年数・・・()年
- ②何の経験から色調を判断していますか(複数回答可)
(先輩からの指導・教科書・過去の経験・その他：)
- ③自分の判断が他の医師と違うと感じたことはありますか
(はい・いいえ)
- ④看護師によって色調判断が異なると感じたことがありますか
(はい・いいえ)
- ⑤ドレーン排泄の色調判断に困ったことはありますか
(はい・いいえ)
[⑤で「はい」と答えた人のみ理由を記入して下さい。(複数回答可)]
・血性と淡血性などの色調の判断に迷うことがある。
・色調判断する指標がない
・その他
()
- ⑥病棟で色調を統一したほうが良いと思いますか
(はい・いいえ)
- ⑦色調判断の基準(カラースケール)が妥当だと思いますか
(はい・いいえ)
[⑦で「いいえ」と答えた人のみ理由を記入して下さい]
()
- ⑧カラースケール以外に色調判断の基準となるものがあるとすればご記入下さい。
()

看護師・医師共通

☆下記の質問はサンプルを見てから記入してください。

- ☆6つのサンプルはどの色調と判断しますか
()の中から妥当と思われる色調の番号して記入して下さい
(1血性・2淡血性・3淡々血性・4その他)
- ★その他についてはどのような性状か記入して下さい

(回答欄)

サンプル	①	②	③	④	⑤	⑥
答え						

(回答例)

サンプル	①	②	③	④	⑤	⑥
答え	1	1	2	2	2	2